





やりたいを  
みつける

# 探究の時間を インタビュー

今回は高校が行っている  
「探究の時間」を特集します。

「探究の時間」は、既存の教科の枠を超えて、生徒が自ら取り組みたいテーマを決めて課題を発見、地域に出て解決策を探る学習活動で、現在112のグループが活動しています。今回はその中でも活動中の3グループにお話を伺いました。

何もないところから、  
はしっぱあんこの制作に  
たどりついたのは？

- 2025年度の主な活動成果
- 「はしっぱあんこ」高校初の商品化
  - 聖句を解説したカレンダー
  - クリスマスマーケット
  - 茨城の方言を使ったカードゲーム
  - 日立市の金色姫伝説の伝承紙芝居
  - 「君の名は」ゆかりの地を巡るアニメツアーリズム など



キリスト教学園の写真をおさめた  
冊子を紹介する長山さん

聖句カレンダー を作るに至った  
きっかけはなんですか？

私はクリスチャンではありませんが、学校の学びを通して讃美歌や聖句に触れて、キリスト教文化が好きになりました。また、身近で悲しい体験をした友人がいて、その人を励ましたいと、私自身も元気づけられた聖句や写真を載せた冊子を作れないかと思っていました。

ちょうど、イバキリの受験を考えている中学生が説明会などで「キリスト教になじんだことがない。どうしようかな？」と悩んでいたという話を思い出して、学校の紹介にもなるように、私が個人的に撮影した学園の好きな風景をたくさん集め、自分なりの聖句の解釈を書き、オリジナルデザインでカレンダーを作りました。それを見た友人は「感動した」と喜んでくれました。



カレンダー  
シオンの四季

学内の写真をちりばめ、  
学生ならではの視点で  
聖句やアドバイスが  
デザインされています。

クリスマスマーケット という企画に  
なった理由や経緯を教えてください

企画の理由はいくつかあったんですけど、そのひとつが、日立市が消滅可能性都市と言われていることです。私たちは元々、多文化共生を実現させようと、そのきっかけとして国籍・年齢など問わずいろいろな人が来られるコミュニティを作るためにクリスマスマーケットを企画したんです。ただ、これは全て思い通りにいくものではなくて、学校や学園のやって欲しいことも、私たちがやりたいこともあり、色々ぶつかってしまって、そういった面でどういう形がベストか、探り合いをしながら

進めました。今回のイベントを作っていく中で、キッチンカーや、お店の関係など地域の人たちとの交流が出来たのはすごく良かったし、学園でやりたかった中では、今回こども園の園児たちが松ぼっくり拾いを手伝ってくれました。人をまとめることは大変で、イベントの成否には地域や学園を巻き込んでいくこと、仕事の割り振りが大切だという学びを得ました。今年以降も広がりを見せてほしいと願っています。

私たちが選択したのはコミュニティ・ビジネス(地域の課題をビジネスで解決する)というものです。食品ロスが地域の課題になっていることから、茨城大の干し芋残渣を利用して「はしっぱ」プロジェクトを知り、イベントに参加して「はしっぱ」を使ったレシピを提案しました。その会場で栃木県のアんこメーカーの人たちと出会い、「ぜひ一緒にやりましょう」と、はしっぱあんこの商品化への道がスタートしました。

“大人の事情”で進捗が滞った時期も経験しましたが、熱意が通じたのかGOサインが出て、メーカーさんと何度も試作を繰り返し、商品を11月のシオン祭に間に合わせるのは大変でした。ラベルは後輩にデザインしてもらって、メンバー全員でひとつずつ手で貼りました。

シオン祭では200個を完売したんです！購入してくれた人の中には、SDGsにも興味を持って買ってくれる人がいることが嬉しかった。人前で話したり、知らない人と話すことができるようになったし、廃棄の現状をもっと知ってもらいたいと思うようになりました。



商品化された  
はしっぱあんこ

さつまいもの風味がたっぷり  
で、やさしい甘さが口の中に  
広がります。ペーストに皮のアク  
セントもあり、食物繊維もたっ  
ぷり！バター入りでそのまま  
でも、あたためても美味しい商品  
です。  
ラベルは2種類展開で、味は  
変わりません。いずれも  
かわいらしいイラストと、エン  
ボス加工が際立っています。



干し芋の残渣「はしっぱ」を使った商品を開発  
した 森田さん、勝扇さん、松田さん

クリスマスマーケットで多文化共生社会を  
実現したい！ 古川さん、田口さん、海野さん



クリスマスツリー点灯式  
学園クリスマスで開催された  
クリスマスマーケット



園児たちが  
クリスマスマーケットの  
松ぼっくり拾い！

高校生が加工して  
オーナメントに！

日立市からの感謝状



女子駅伝部の  
ウェブページは  
こちらから



この快挙に、日立市から「都大路を颯爽と走り抜きたすきをつなぐ姿が市民に勇気と感動を与えてくれた」として感謝状が贈られました。強い絆で結ばれ駅伝したチーム。今年も素晴らしい走りを目指しています。



見事12位でゴール！  
本校の先輩たちが樹立した茨城県高校記録には2秒及ばなかったが、主将は、チームを支えた3年生全員が走れたことに触れ、  
「3年生は相方みたいな存在。同じチームでできて良かった」と語りました。



当日は雨が降りしきる中、全国57校のチームが出場。手に汗握る激戦で、5区（最終）では9人を抜く快走で

女子駅伝部  
全国高校駅伝  
快挙 女子12位  
アンカー9人抜き

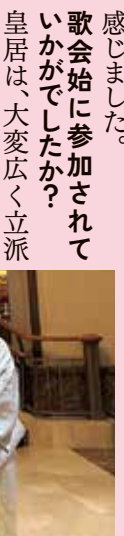
この度は本当におめでとうございました。これからも更なる活躍に期待しています。

菅野先生の心なものでしょうね。

松の間は宮殿の中でも最も格式の高いお部屋ということで入るときから極度に緊張しておりました。儀式的の間聞こえるのは歌を朗詠する声と移動の際の靴音のみ。厳かな空気の中で肅々と儀式が進んでいきました。

また、両陛下が預選者(入選者)一人一人と間近でお話し下さる時間があり、陛下は私に「チョークの音をなつかしく思い出しました。」と喜んでくださいました。私の歌に共感していただいたと感じ、感激いたしました。

歌会始に参加されて  
いかがでしたか？  
皇居は、大変広く立派な建物と美しい庭園、木々が配された言葉では言い尽くせないような素晴らしい特別な場所、空気が澄み渡っていました。



菅野先生にお話を伺いました。  
授業の中でもデジタル化が進み、タブレットやスクリーンを使うことが多くなりました。また、新しい教室にはホワイトボードも設置され、快適に板書できる環境が整いました。そんな時、廊下にいると、教室からチョークで板書をする音が聞こえてきて「ああ、この音はいい音だなあ。」と感じました。

宮内庁Instagramより引用  
(https://www.instagram.com/kunaicho\_jp/)



スクリーンに  
明朝体の  
文字並び  
チョークの音の  
しない教室

1月14日、皇居宮殿にて、  
歌会始の儀が執り行われ、  
本学高校教員の菅野公子先生の短歌が選歌、  
披露されました。  
今回のお題は「明」で、  
選ばれた詠進歌は、

高校教員の短歌  
歌会始にて披露

宮内庁youtubeで  
歌会始の様子を  
ご覧いただけます





# HOT TOPICS

中  
学  
校

## クリスマス礼拝



中学校でクリスマス礼拝が行われました。昨年度から新しく始まった形式で、今年も前半はイエス様誕生の様子を演じるページェント(降誕劇)がありました。そして後半には日本基督教団六ツ川教会牧師の桐藤薫先生から「歌のないところで」というテーマでメッセージをいただきました。多くの生徒の活躍と神さまの導きにより恵み豊かな礼拝の時となりました。



ホットピックスでは学園や各設置校のイベント活動を紹介しています。



### 大学 地元の食材を使用した新商品が完成! 水産加工業との産学連携プロジェクト

食物健康科学科では、学生主体の産学連携活動として株式会社飛勤水産(日立市)と商品開発に取り組んでおります。授業や実習で培った知識と技能を生かし、地域資源の活用を目的として完成した「さばてりっ! バーガー」は、12月に同社店舗にて提供されました。



記事はこちら↓



### 学園 アンネのバラに冬のお手入れを行いました。

春、バラが見事に花を咲かせるのは、バラの休眠期である冬の手入れ次第と言われています。最低気温が氷点下となった寒さの中、地域ボランティアのみなさんと学生・教職員の合計22名が仮剪定と元肥を施す作業を行いました。当日は、未来教養学環の学生もはじめて作業に参加しました。学園のアンネのバラは、正門前をはじめとして、60株以上が植えられています。開花は例年ゴールデン・ウィーク頃になります。今年も見事な花が咲くことをご期待ください。



記事はこちら↓



### 高等学校 探究から生まれた「はしっぽあんこ」

高校で行っている探究活動。あるグループが干し芋の残渣から作った「はしっぽあんこ」は、活動を通して出会った栃木県のあんこ屋さんと一緒に開発した商品です。学園祭に続いてクリスマスマーケットでも販売し、おかげさまで完売しました。この活動を通じてフードロス削減への関心が少しでも広がることを願っています。



### こども園 せいじ園・みらい園でクリスマス会を行いました

こども園では、創立当初からイエス様のお誕生をお祝いするクリスマス礼拝・祝会を行っています。第1部礼拝では、年長組が難しい聖書の言葉を覚えて降誕劇を行います。第2部祝会は、3歳児以上が劇や歌などを歌ってお祝いの会をします。クリスマス礼拝・祝会当日は、大きな神様の愛の中で保護者や保育者に見守られ温かく楽しい一日を過ごしました。



イバキリ高校の「探究の時間」がスゴイことになってます!

自ら課題を発見し、キャンパスから地域に出て、解決策を探り、形にする。

思わぬ商品が誕生したり、イベントが実現したり、年末に初めて開催された「クリスマスマーケット」も実は高校生の探究活動から生まれたものでした。「探究」は大学の未来教養学環を中心とした「体験型学習」と呼応するもので、これからの学園全体の学びの核になっていきます。

クリスマス、高校女子駅伝の活躍、そして高校国語科の菅野先生が「歌会始の儀」に選出されるなど、盛りだくさんの年末年始をご紹介しました。

(2026/01/27)

